

食のセーフティネットモデル事業



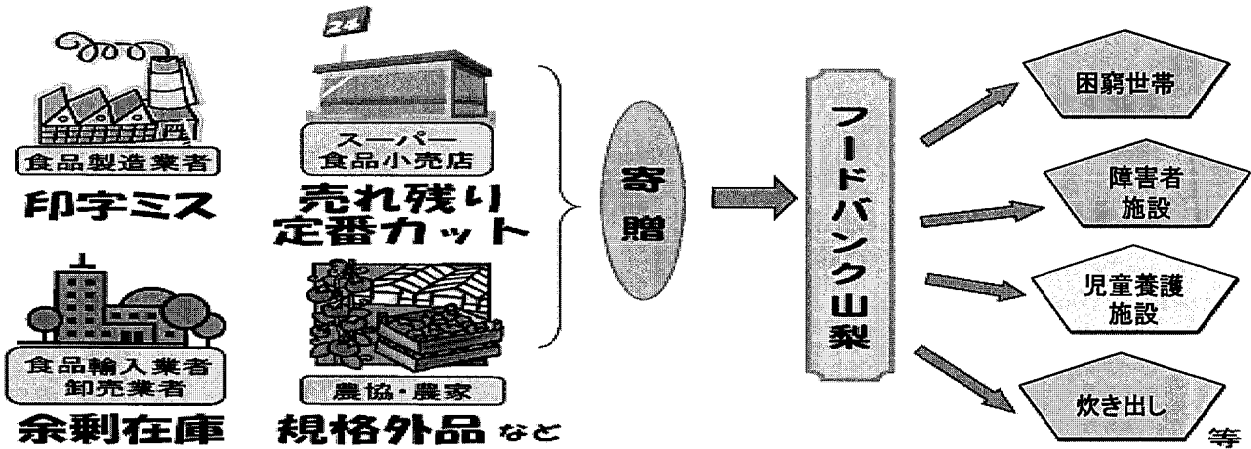
NPO法人

フードバンク山梨

1. フードバンクとは？

〒350-0193 山梨県北杜市北杜町1-1-1

フードバンクとは安全に食べられるのに、箱が壊れたり、印字が薄くなったりして、販売できない食品を企業などから寄贈してもらい、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。



- ・日本でまだ食べられるのに捨てられている食品は年間500～800万トンで、国民1人1日当たりほぼ1食分が廃棄されています。
- ・企業は廃棄コストの削減となり、地域の社会貢献にもなります。
- ・フードバンクはもったいないを、ありがとうに変える活動です。



2008年10月19日フードバンク山梨設立



月1回の食品配布を開始



2009年9月 NPO法人格取得

2009年10月小笠原事務所開設



2. 取り組むきっかけ

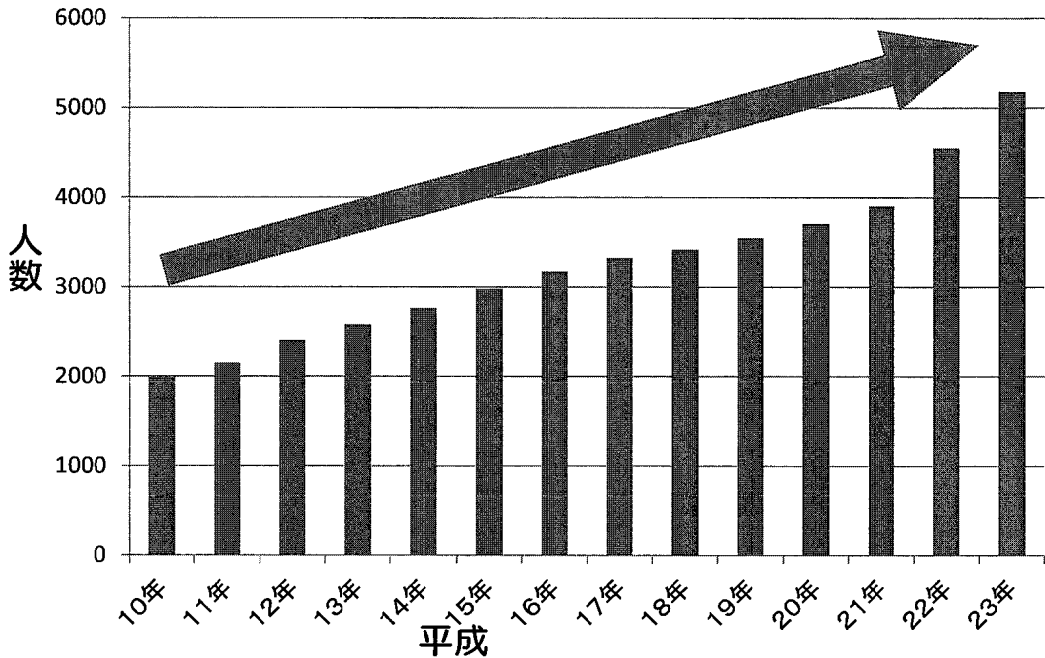
▽ 食のロス削減と社会貢献



山梨県 生活保護に関する非保護人員数推移

平成	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
被保護人員 (人)	1,988	2,154	2,408	2,579	2,766	2,983	3,173	3,325	3,418	3,550	3,710	3,905	4,551	5,182

山梨県でも生活保護を受ける人が年々増加しています。(13年前の約2.6倍)



山梨日日新聞 2009年12月10日



広がる生活苦 悲痛SOS

フードバンク 県内NPO法人活動2ヵ月

夫が失業…一家4人おかゆでしのぐ、頼る所なし



登録施設に食品を配布するフードバンク山梨のメンバー。中央は山梨市。

規模が商品として販売できない食品を企業から譲り受け、福祉施設などに届けるフードバンク活動。山梨県内では、甲府アルプス市のNPO法人フードバンク山梨が活動を始め、毎月約100kgの食品が福祉施設などに届いている。最近、一戸建て住宅で暮らす家族が、おかゆでしのぐ夫が失業、周囲に生活費を打ち明ければ、満足に食事もできない状況だった。米山は、理事長は、悪化に伴って雇用機会を踏まえて、普通家庭に見ても、苦しい生活を営むケースは今後も増える。貧困層が増えていることを強調。施設向けに個人向けの物資調査も検討している。

「おた食べるものがない。頼る親戚もいません。先月、県内の活動拠点になっていたフードバンク山梨の事務所が、女性から一本の電話があった。スタッフが食料車に載せて到着した先は、普通の二軒家。家にいる人、女性を呼び、夫と二人で話を聞いた。冷感車は、おかゆでしのぐ。夫は、子どもを食わせるのは、何カ月かたかると涙を流した。

供給量不足
 家族で眠っている食材を提供。NPOの法人フードバンク山梨生活困窮者の増加が予想される。年々増加し、多くの食料を確保するため一般家庭に寄付を呼び掛けている。米国産のフードバンク活動で、市民から食料を保存食、調味料、飲み物、野菜などの寄付を

3. 食のセーフティネット 事業の概要



食のセーフティネット事業の仕組み





市町福祉課・県機関・団体との連携

45機関・団体と連携確約書締結 (2013年6月現在)

行政(21)

甲府市
南アルプス市
韮崎市
北杜市
甲斐市
中央市
笛吹市
甲州市
市川三郷町
富士川町
南部町
身延町
早川町
富士吉田市
西桂町
都留市
山梨県中北保健福祉事務所
山梨県峡南保健福祉事務所
山梨県峡東保健福祉事務所
山梨県女性相談所
山梨県地域生活定着支援センター

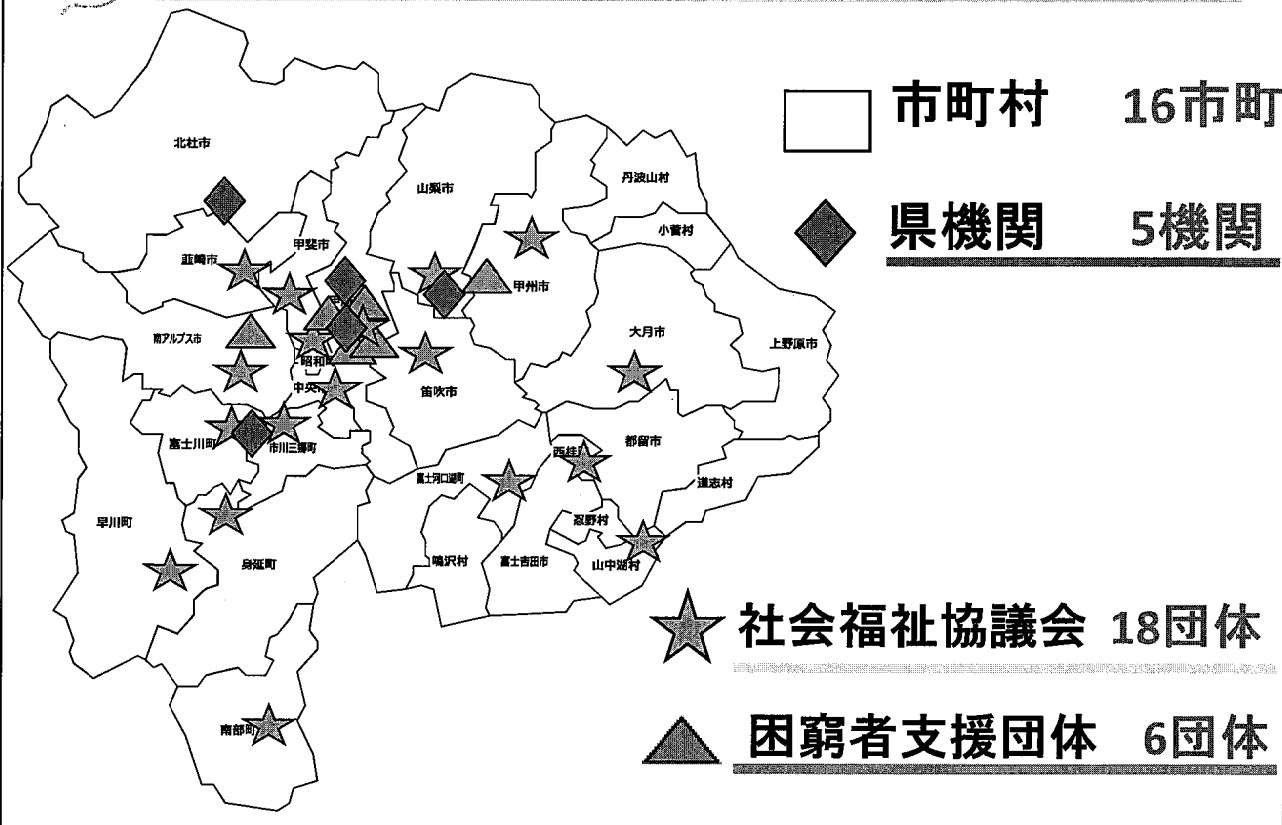
社会福祉協議会(18)

甲府市社会福祉協議会
富士吉田市社会福祉協議会
山梨市社会福祉協議会
大月市社会福祉協議会
韮崎市社会福祉協議会
南アルプス市社会福祉協議会
甲斐市社会福祉協議会
笛吹市社会福祉協議会
中央市社会福祉協議会
昭和町社会福祉協議会
市川三郷町社会福祉協議会
富士川町社会福祉協議会
早川町社会福祉協議会
身延町社会福祉協議会
南部町社会福祉協議会
西桂町社会福祉協議会
山中湖村社会福祉協議会
富士河口湖町社会福祉協議会

支援団体(6)

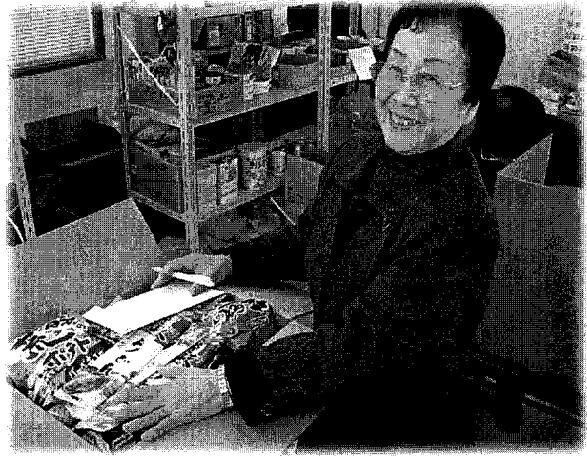
NPO法人 やまなしライフポート
NPO法人 活き生き支援 人・農再生
社会福祉法人 山梨ライトハウス 青い鳥支援センター
特定医療法人 南山会 地域活動支援センターきがる館
一般社団法人 多文化 リソースセンターやまなし
株式会社アンサーノックス

連携確約書締結機関分布 45機関





個別ファイルをもとに食品を厳選

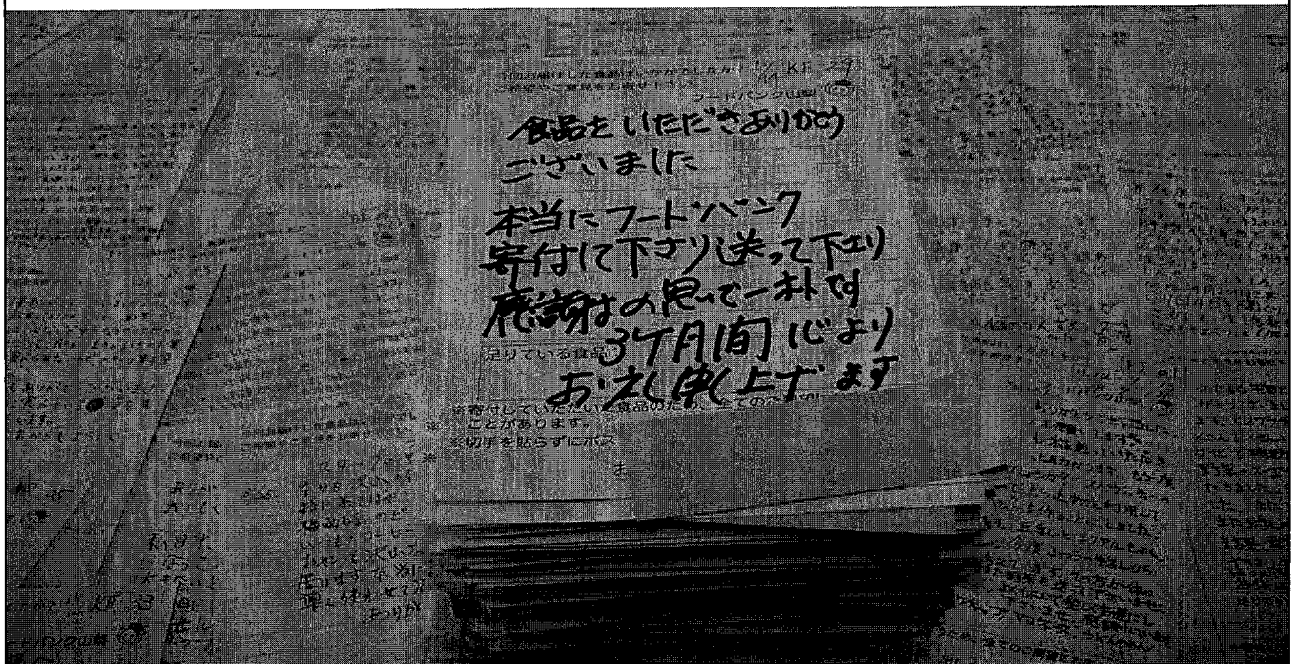


個人別ファイルには、お手紙と返信ハガキによる交流の状況、担当者との連携の記録が明記されています。これを確認しながら送る食品を選んでいきます。



返信はがきはこれまでに1,000通を超えました

食糧支援している方々の多くは社会から孤立しています。フードバンク山梨では、ひとりひとりに宛てた手書きの手紙と一緒に、近況や思いが綴られる返信はがきを同封しています。



4. 食のセーフティネット 事業の成果



食のセーフティネット事業実績

個人への食糧支援の実績

			2012年
連携機関	16機関と連携	30機関 (連携確約書締結)	43機関 (連携確約書締結)
食品の配送 件数合計	306件	1888件	3088件
配送重量 合計	3トン	17トン	28トン

※WAM助成期間 2010～2011年



事業によって生み出された効果

効果

既存の社会保障制度の狭間にいる生活困窮者への支援が可能となった。

- ① 社協の貸付けや生活保護申請から受給開始までの間の食糧支援
- ② 様々な理由で生活保護を受けられない、または受けたくない方
- ③ 高齢者世帯、低年金、無年金
- ④ ひとり親世帯
- ⑤ ホームレス
- ⑥ その他（定時制高校、震災避難者、外国人、障がい者）



食品を受け取った方からの返信はがき

この度は早々に食品をお送り頂きありがとうございます。クリスマスプレゼントが届いた子どもの様に嬉しくなりました。経済的に苦しく、社会から見放された様に感じて孤独でしたが、安心と希望が届いた気がしました。（中略）

病気の為、食事の支度が毎食きちんとはできないので、手をかけずに食べられる缶詰やシリアル、お米も無洗米は助かります。感謝し、寄付して下さった皆様のことを思いながら大切に使用させていただきます。



初めてフードバンク山梨の皆様のお助けを頂きました。話には聞いていましたが、自分がその立場になるとは夢にも思いませんでした。有難い思いでいっぱいです。

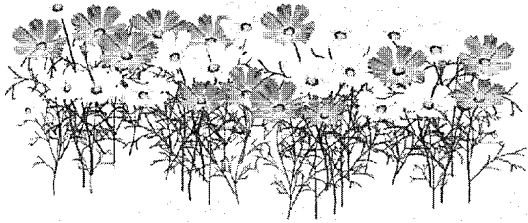
私は63才でまだまだ働けます。ハローワークでは求人票が厳しく断られる毎日ですが、やれる年齢まではいくらでもいつも考えています。1日も早く自立し頑張って働くことこそ恩返しだと思っております。

食のありがたさ、食べるのが生きる元です。空腹は誰でも辛い事です。これから年越しに向かい、厳しい現状です。心も体も温かい食べものが誰でも欲しい季節だと思います。（一部省略）

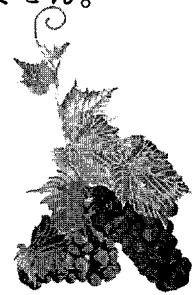


食品を受け取った方からの返信はがき

援助をありがとうございます。
子どもを2人育てながら仕事をして不安がいっぱいの中、温かいお手紙と食品をいただき、涙が止まりません。常にお手紙を持ち歩き、心が詰まった時、目を通すと励みになります。1人ではないのだと・・・。
わずかな期間ですが、安心して子どもたちに食事を与えることができます。私も精神科に1年程通院し、心に少しゆとりがとれ、回復に向かうことを思い、自分の体を大切にしたいと思えます。



品物が届きました。当日私は前日から続く偏頭痛で伏せていました。孫は朝から玄関にハンコを用意して待っていました。ここに書くのは恥ずかしいのですが、ここ数年ほんとに大変な思いをしてきました。2年前、1日に豆腐1丁しか食べさせることが出来ない時がありました。体の大きな孫は空腹で眠れずに夜中にフト気付くと台所でボーッと立ちすくんでいました。その姿は、今でも忘れる事が出来ません。今皆さまにこうして助けていただいて本当に感謝しています。

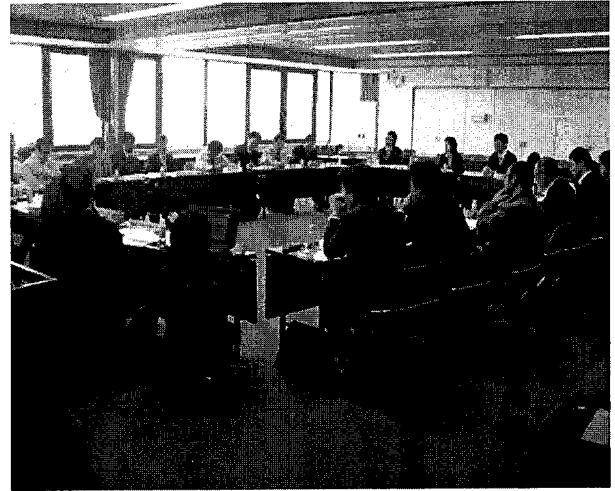


5. 関係団体との連携

関係団体との連携



連携機関との信頼関係を構築するために 定期的にフードバンク連携会議を開催



2012年3月 山梨県、県福祉事務所、市町福祉課、
社会福祉協議会など19機関が出席
2012年9月 15機関が出席

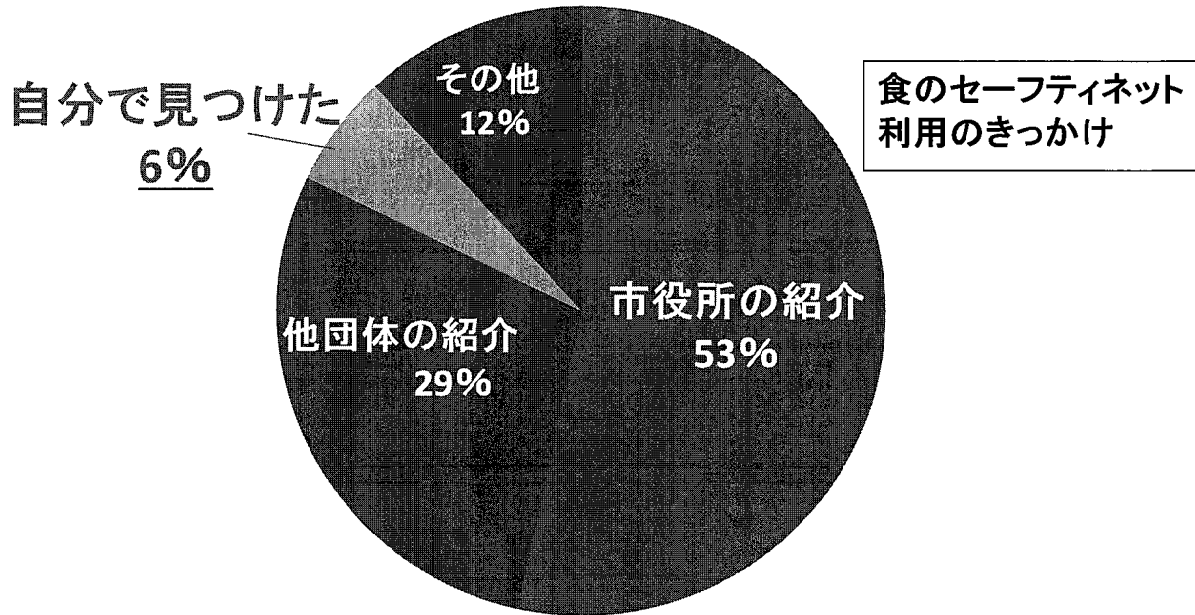


なぜ行政や社会福祉協議会、 困窮者支援団体と連携するのか？

フードバンク山梨の食のセーフティネット(食糧支援)を利用するに当たり、連携機関を経由せずに直接フードバンク山梨に問い合わせてきた人は全体の何%でしょうか？

- ① 54%
- ② 31%
- ③ 6%

生活に困窮した方が一番最初に行くところは市役所や社会福祉協議会であるため、それらの機関と連携することで県下の広域において生活困窮者の把握が可能となる。

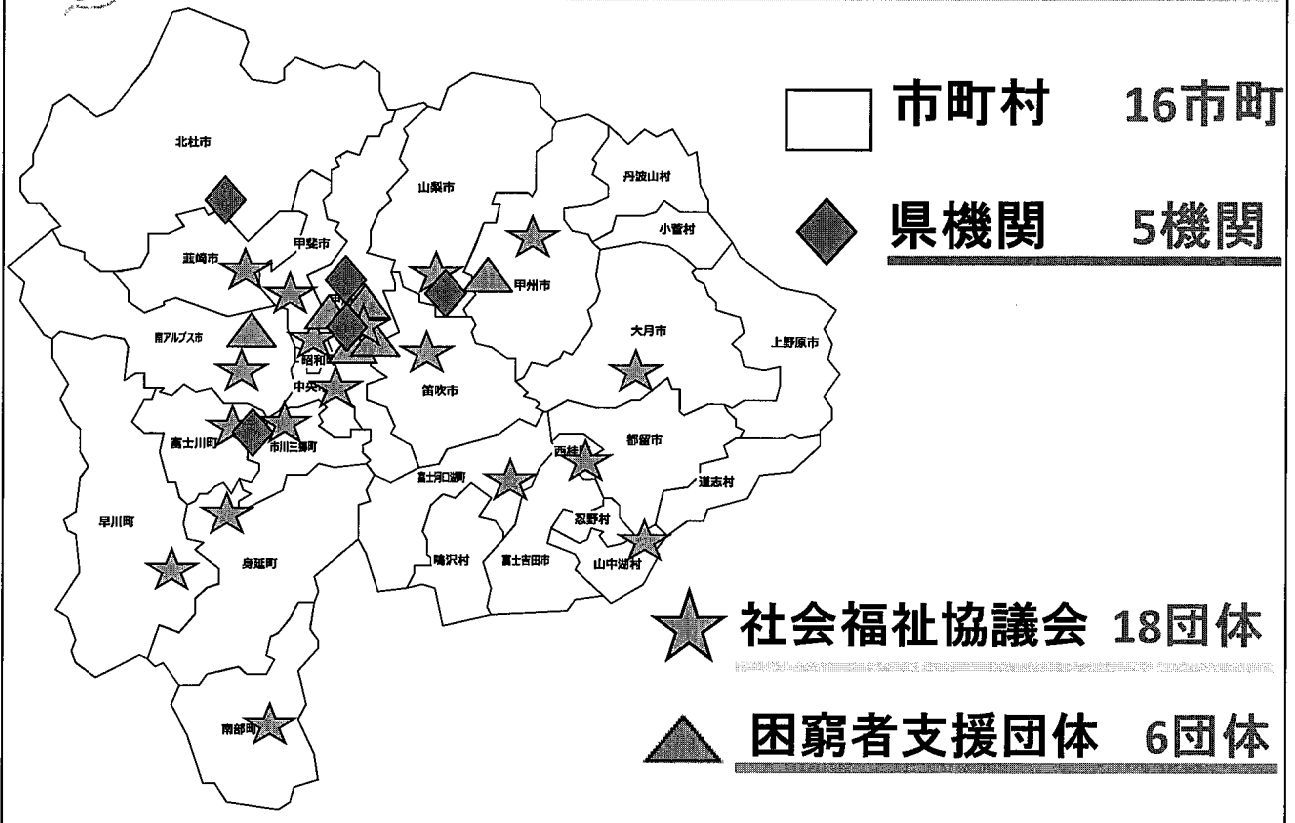


食のセーフティネット
利用のきっかけ

他機関と連携しない限り、残りの94%の
見えない貧困層への支援はできない。



連携確約書締結期間分布 45機関



6. 課題、今後の事業展開について

0. 課題、今後の事業展開について



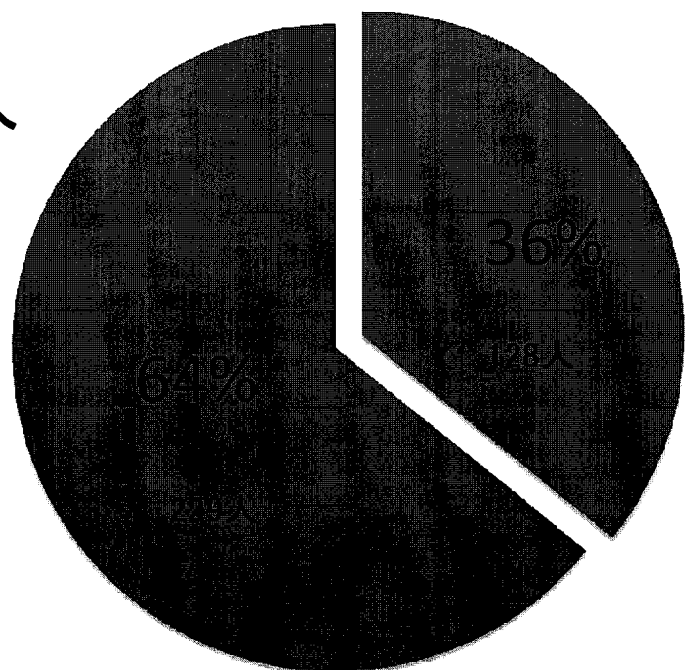
食糧支援を行った162世帯を調査

2013年5月分

総支援人数 357人

 19歳以下の子ども

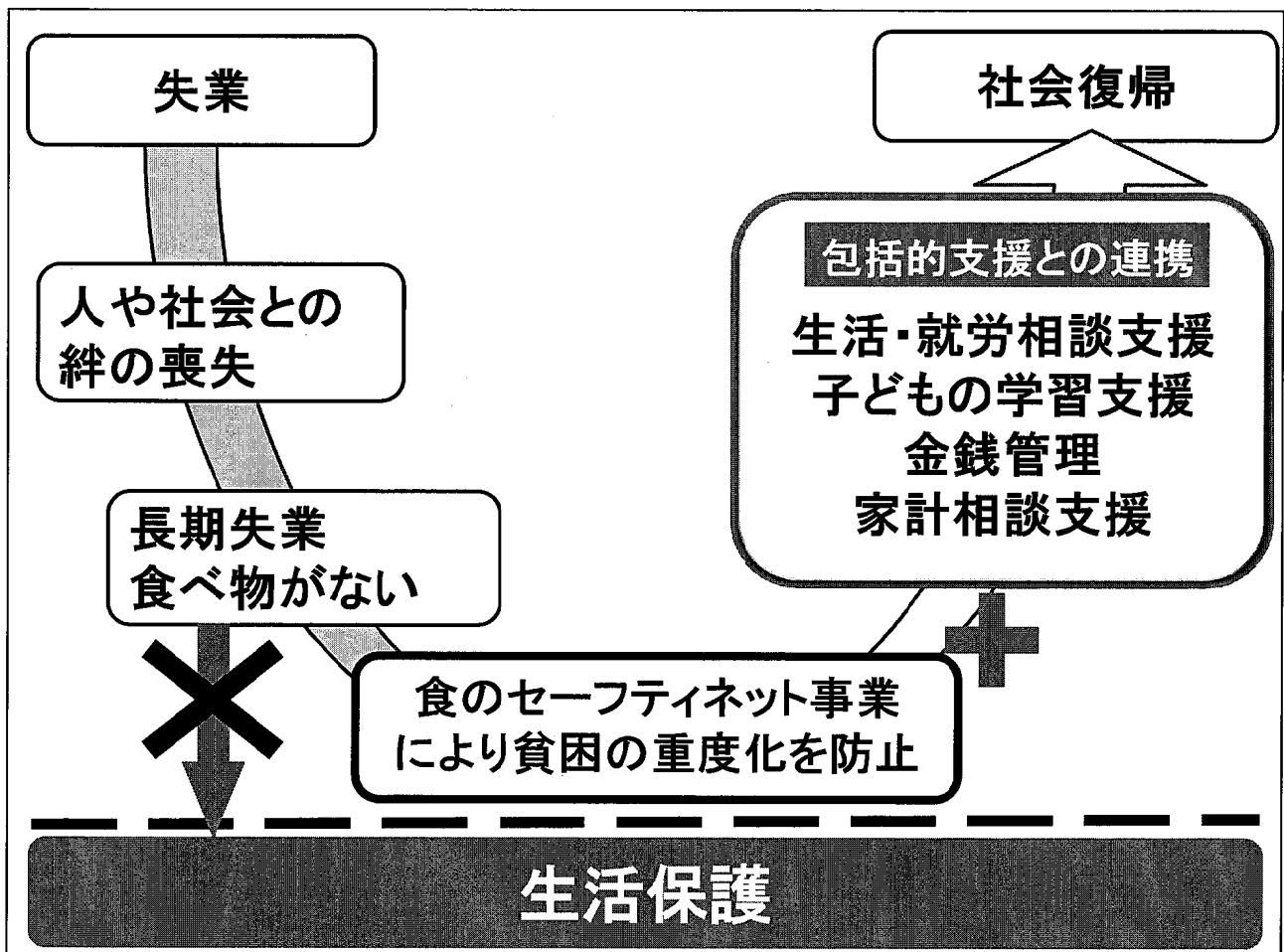
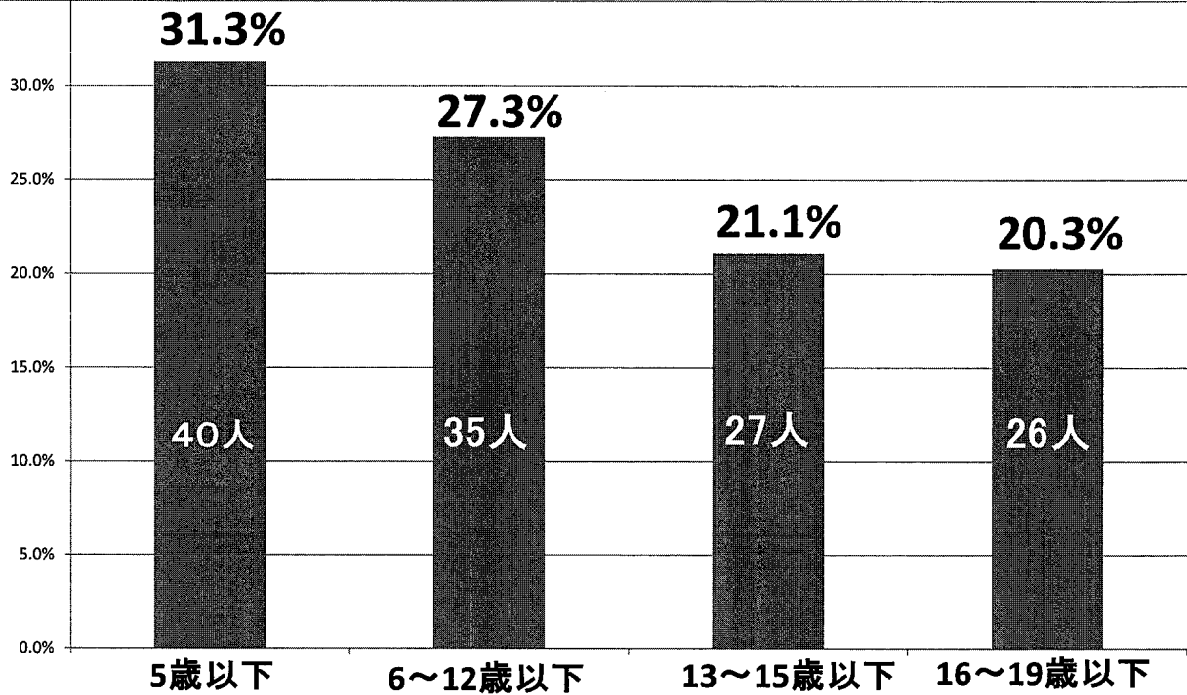
 20歳以上の大人





子どもの年齢

年齢の低い子どもを抱える家庭が多く、貧困に陥りやすい





課題と今後の展望

- ① 海外の先進事例のように、国の社会保障制度にフードバンクを位置づける。
- ② 中間支援組織 他県へのノウハウ移植、情報共有を目的とした全国的なネットワーク。
- ③ アドボカシー活動(政策提言)
- ④ SROI(社会的投資収益率)による食のセーフティネット事業における費用対効果の可視化。